

事務局だより

2013年7月

農業協同組合研究会 事務局

1. 第9回総会の開催について

去る6月1日、第9回総会と研究大会を開催しました。総会では2012年度事業報告と決算、2013年度事業計画と予算および任期満了に伴う役員改選を行い新たに理事・監事を選出しました。

理事会、総会でとくに問題となった主な事項は次の通りです。

- 1) 事業について、①2012年度小研究会は開催されなかったが最近の情勢を考えると今後は開催に努める必要があること、②研究会の活性化を図る上からもホームページの活用強化を図ること、③研究会・シンポジウムについては会員外にも広く連絡し、参加を呼びかけること。
- 2) 予算については、最近正会員の減少により会費収入が減少し予算編成にも困難をきたす状況がみられるので、会員拡大を重視して追求すること。

本年度はこうした理事会、総会の意見に基づき、研究会としても情勢にふさわしい活動強化が要請されているといえます。

また、総会終了後開催した研究大会では、「TPPと日本の国益を考える」をテーマに、元外務省国際情報局長孫崎享氏から報告をいただき質疑しました(詳細は農業協同組合新聞6月10日号)。参加者は約100名で盛会でした。

なお、事業計画で予定していた8月末～9月上旬での現地研究会開催が諸般の事情で不可能となったので、改めて検討することとしています。

2. 会員の動向について

総会資料でも明らかなように、本年度始めの会員数は正会員150(昨年度との比較でプラス1)、賛助会員8(増減なし)となっていますが、最近、高齢化などの理由で退会される会員もみられます。

研究会の力量は何よりも会員数によって示されます。事務局としても努力しますが、会員の皆さんも研究会加入希望者があればご連絡いただくなど、会員拡大にご協力くださるようお願いいたします。

3. 会費の納入状況について

新年度となり会費の納入をお願いしたところ、既に約半数の方が納入されました。改めて感謝いたします。なお、いまだ未納の方はなるべく早く納入くださるようお願いいたします。

4. ホームページの活用について

理事会・総会でも改めて強調されたように、会員相互の情報・意見交換はもとより研究会活動全体を活性化するうえでもホームページの活用強化が強く望まれています。会員の皆さんの「研究発表」や「会員広場」への積極的なご協力をお願いします。ただ、スペースには限りがありかつ出来るだけ多くの方の参加をいただくため、字数は1,000字以内となっていますのでご了承ください。

5. 今後の資料送付について

今回、総会資料とともにTPP関連の資料をお送りしたように、今後は農協運動や農政の動向を考える上で重要と思われる資料をお送りする予定です。ご希望やご意見があればご連絡ください。